

元気と喜びを与える、 それが太田東西薬局の使命



11月1日、東京駅の会議室で30名の薬剤師のみなさんの前で講演してまいりました。

長崎の田舎の薬剤師が、東京の大都会で弁を振るう。
太田東西、業界ではちょっとした有名人なんですよ(笑)

どんな話を・・・？

「いかにして、お客様に元気と喜びを与えるか？」
居眠りしてしる人は、最後まで誰もいませんでした。

イキイキしていますね！(笑)



人前で話すのは苦ではありませんが、だからといって人前で話している時がイキイキするわけじゃないですよ。

「聴講者に元気と喜びを与えたい！」

それを目的として話をしているから、イキイキしているんです！

10月にお寺で開催した講演会もそうです。

みなさんを元気にする、喜んでもらうために最高最善の企画演出を考えます。そこで今回もスペシャルゲストを用意しました。

10月の再現、

ソフィアエムートさんを特別講師にお迎えしました～..o °.:,*:...o



青春時代のソフィアさんは、500人を従える暴走族の頭(カシラ)だった。そして今、人を助ける、人を癒す集団の、頭になっていたのです！(^o^)/

ソフィアさんはスピリチュアルカウンセラー。これまで3000人近い悩める相談者のカウンセリングを務めてきました。

その相談の中には、「あちこちの病院、いろんな薬や健康食品を試したけど病気が全然良くならない・・・」といった病気の相談も多いそうですが、それは太田東西薬局の漢方相談と同じなわけです。

ファーマシーとスピリチュアル。漢方とサイキック。

その立場、用いる手段は異なっても、相談者を救済するという目的は同じ。生き字引のように薬の知識に長けていても、数え切れないほどの薬や健康食品を持っていても、相談者の病気の悩みを解決できない薬剤師もいます。

「ソフィアさんがどうやって病気の悩みを解決しているのか？」

勉強会に参加されたみなさんに、それを学んでほしいと思つての企画でした。太田東西がソフィアさんに質問するという形式で始まりました。

「病気の相談の場合、薬なしでどうやって解決しているのですか？」

「病気は自分の体と心のバランスが崩れている状態の結果だと、まずは気づいてもらうことからですね。自分に向き合ってもらうことからスタートです。相談者が私のところに来る時には、もうかなりの時間とお金を使って、どうしようもない状況で来ている場合が多いので、わりと素直に向き合ってくれます」

「なかなか病気が治らない人もいます。そういう場合、どう考え、どうされていますか？」

「何かに憑依されているのでは？前世で悪いことをしたから治らないのでは？そういう人に限って、生活習慣がデタラメです。一番は食生活。ジュースやお菓子の食べ過ぎで高インスリンから低血糖になり、うつっぽくなっている。薬でおかしくなっている人もいます。そういう人に共通することは怠け心。依存心が強く、何とかしてもらおうと思つています。当たり前の生活をすれば治るのに、病気ということを理由にして家族にやさしくしてもらおうとする人も結構いますよ(笑) 本人、自分が病気だからと言い訳したいんですね」

「そういう場合、どうするんですか？」

「言ってもわからない、行動を変えないなら、仕方がない、どん底まで落ちなさいって思つて見守っています。いつ本気になるか？を待っています」

「心配性のお母さんが多いですね。もちろん、無関心、育児放棄の母親よりもいいと思うのですが、心配性をスピリチュアル的にはどう考えますか？」

「私の相談者の中にも心配性の人が多いです。親の心配性が高じるとその心配の念が子どもに飛んで、子どもをダメにします。心配というのは一見、やさしさ
ようですが、愛ではない。相手を信じていないということ。
必ず良くなることを信じる。最善を信じる。心配性の克服はそこからです」

「祖母 母 娘と三世代にわたって心配性、“心配性の連鎖”とも言うべきご家族も散見されますね。そうした家族の男性側は、心配性とはまったく無縁。家族に関心がないマイペースが多かったりしますね(笑)」

「そうやって家族でバランスをとっているのでしょうか(笑) 私がいろんな苦難を乗り越えられたのは、神様の存在を信じていたから。祈り続けたからです。祈りや信仰というと宗教くさいですが、心配性や不安感を払しょくするために未来を切り開いていくために、祈ることは大切だと経験して思います」

「潜在意識というのは、かなりの影響力があると伺いました。言葉遣い、思い方
それが潜在意識を大きく左右するようですが？」

「例えば『がんになりたくない!』と強く思うと、がんになったりします。がんになりたくない!という思いは、潜在意識ではがんという病気に執着することになり、がんを引き寄せたりするのです。『がんを治したい!』もそう。病名、ネガティブな言葉を使わずに、日頃は『健康な毎日に感謝します』病気がなった時は、『少しずつ健康になっています』『健康回復に向かっていることに感謝します』という思い、言葉遣いがいいと思います。私は寝る前に『すべてが最高最善の方向に進んでいることに感謝します』と唱えています」

「我慢。病気の原因ですよね？」

「良くないですね。我慢と忍耐は違います。忍耐は今の感情を受容して、希望を
持って生きていく。しかし我慢というのは自分の感情を押し殺す。すると、怒りと憎しみが蓄積されます。私の元夫との11年間の結婚生活は、忍耐ではなく、我慢だった。だから離婚した直後に、私は甲状腺がんになったのです。我慢と忍耐。一番の違いは、そこに不平不満があるかどうか、です」

「漢方とスピリチュアル」のコラボレーション。
終了後、会場にはたくさんの感動と喜びの声が溢れていました!!!(^o^)/
太田東西はこれからも、元気と喜びを与えるために全国を飛び回りま〜す!